

[事前評価]

課題名 ローズL-4活用のための組合せ検定試験（令和5年度～8年度）

【課題の概要】

県内銘柄豚肉の安定生産を図るためには、基礎となる系統豚の資質向上と安定供給が重要であり、当センターでは、ローズL-3の後継となるランドレース種の新たな系統豚（仮称：ローズL-4）の造成に取り組んでおり、令和7年度当初の認定が見込まれている。

ランドレース種は繁殖能力に優れることから、同様の資質を持つ大ヨークシャー種との交配に用いられている。また、生産されたF1母豚は、三元交雑が主流である肉豚生産に広く活用されていることから、ローズL-4については系統豚としての優れた能力に加え、F1生産としての活用面での資質の検討が必要である。

そこで、ローズL-4の利用性に関し、生産されるF1およびその後代等の資質や能力について、組合せ検定等を実施することにより、ローズL-4の利用面での能力を早急に把握し、普及に向けて活用する。

【評価結果】（評価委員数 4名）

○各項目の評価（各評価委員の平均点）

研究の必要性・緊急性	目的達成の見込み	期待される効果	研究方法の妥当性	推進体制等について	合計点
4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	24.0

○総合評価 A：採択

（A：採択 B：計画を見直し採択 C：不採択）

【委員の意見助言と対応策】

評価項目	意見・助言	対応策
研究の必要性・緊急性	茨城県の銘柄豚の安定供給と品質向上には、系統豚の改良は不可欠であり、生産者、消費者双方からのニーズは高い。	—
目的達成の見込み	造成計画に基づきしっかりと計画されている。目的達成の見込みは高い。	ローズL-4の活用に向け、研究計画を適正に遂行し、想定目標を確実に達成する。
期待される効果	新規系統豚の利用拡大の基礎データとなりその有益性は高い。	—
研究方法の妥当性	自己評価を支持する。	—
推進体制等について	自己評価を支持する。	—
総合評価	ローズポーク、常陸の輝きの生産に拡大に貢献できるよう鋭意進めていただきたい。	本研究の成果を基盤として、県内銘柄豚の生産拡大、さらなる資質向上を積極的に推進する。